

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表： 2023年 3月 1日

事業所名 きっず・らるげっと 保護者等数（児童数） 19名 回収数 16名 割合 84%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	15			1		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	16					
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置など特性に応じて配慮が適切になされている	16					
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	15			1		
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	14	2			子どものやりたいことができる環境が整っていると感じる。	一部固定化したものも含め、通所が楽しいと感じられる活動プログラムを工夫している。
	6	地域と交流できる機会や、活動がある	10	1		5	地域の祭りに参加し、手伝いをする機会があった。	地域交流ができる活動を今後も考えチャレンジしていく。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	16					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができています	16					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	16				進路相談や子育て相談で心理的な面から母親の気持ちを聞いてくれ相談にのってくれた。	必要に応じて公認心理師が心理的な視点からの助言をしたり対応をしたりしている。
	10	保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	12	2		2	開催はされたが連携というのかはわからない。	これまでの保護者会ではその場での交流になっているので、今後連携につながっていくような工夫をしていく。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	14			2	すぐに対応してくれた。	今後とも迅速に対応する。
	12	子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	16				思春期の子どもに対しての細やかな配慮があった。	子どもからの情報を保護者に伝達するときは子どもの年齢や状態に応じた配慮をし、親子の関係性への影響を意識する。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	15		1		不定期発行のお便りがほぼなくなりブログやラインの発信も減っているのでも少しづつでも発信してほしい。	思春期などの影響から写真への抵抗を示す高学年児童が多く掲載できる数が少ないため、ホームページ内のブログで、今後も活動報告や自己評価結果の公表と、ラルゲットニュースによる発信を続けていく。
	14	個人情報に十分注意している	16					
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	14	1		1	周知、説明の機会がないのでは。	子どもたちのロッカーの一部を開放して、マニュアルやガイドラインを全て設置しているが、その説明が契約時のみになっていたため、定期的に周知に努める。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	14		1	1		
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしている	16				大好きです！	今後も子どもたちが通所を楽しみにできる環境を整える。
		保護者が相談しやすい体制が整っている	16					
	18	事業所の支援に満足している	16					